

## 施策マネジメントシート

基本施策名	10 高齢者福祉の充実	施策統括課	高齢者支援課	氏名	馬場一嘉
政策名	保健・福祉	主な関係課	福祉総務課、地位包括ケア推進担当、予防健康担当		

### 1 施策の目的と指標

対象(誰、何を対象にしているのか) \*人や自然資源等

65才以上の市民(高齢者)

対象指標(対象の大きさを表す指標)数字は記入しない

	名称	単位
ア	65才以上人口	人
イ		
ウ		
エ		

施策の目的

高齢者が生きがいを持ち、地域社会を支える一員としていきいきと活躍できるように環境を整えるとともに、病気や認知症になっても住み慣れた地域で最後まで安心して暮らせるまちを目指す。

成果指標(意図の達成度の指標)数字は記入しない

		名称(展開方向ごとに記載)	単位
1	ア	75歳以上の要介護認定率	%
	イ	自主活動グループ数(活動場所)	箇所
2	ア	高齢者の就労率	%
	イ	高齢者の社会参加率	%
3	ア	孤立化のリスクが高い高齢者の割合	%
	イ	高齢者からの新規相談件数	件
4	ア	市が高齢者の相談や支援を充分に行っていると思う市民の割合	%
	イ	要介護認定者のうち在宅で過ごす人の割合	%

### 2 第1次基本計画期間(平成28～35年度)内における取組内容

施策の展開方向	目的	手段(具体的な取組内容)
1 介護予防と生きがい活動の推進	高齢者が自らの健康管理に努め、予防的な観点を生活に取り入れながら、いきいきと暮らせるように支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・元気な高齢者も対象とした生きがい活動ともなる事業を中心に、介護予防事業を推進します。</li> <li>・高齢者の生活や健康の保持について学びあうことができる環境を整えます。</li> <li>・高齢者のサロン活動や生きがい就労を支援します。</li> </ul>
2 高齢者の支え合い体制の構築	高齢者の孤立を防止し、社会参加を通じて、つながりのある支え合い体制を構築します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者の見守り活動等により、元気な高齢者が、周り的高齢者を支える仕組みづくりを推進します。</li> <li>・生活支援の基盤としてのシルバー人材センターとの連携を強化します。</li> </ul>
3 きめ細やかな生活支援	高齢者やその家族が安心して生活できるよう支援します。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生活、介護、医療等の相談を総合的に受け、きちんと支援につながるようきめ細やかに対応します。</li> </ul>
4 高齢者の在宅療養生活の充実	加齢に伴い、病気や認知症になっても、安心して地域で暮らせるようにします。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・医療と介護、保健が連携した在宅療養の支援体制を整備します。</li> <li>・認知症の専門対応と市民啓発を行います。</li> </ul>

3 総事業費・指標等の実績推移と目標値、実績状況把握

単位		数値区分	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	33年度	34年度	35年度	目標達成度				
対象指標	ア	見込み値				16,955	17,098	17,187	17,266	17,297	17,454	目標達成度				
		実績値	16,523	16,887	17,190											
	イ	見込み値											達成・未達成	前年度比較		
		実績値														
ウ	見込み値															
	実績値															
成果指標	展開方向1	ア	%	成り行き値			33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3		未達成	低下	
				目標値	32.9	32.5	32.1	31.7	31.3	30.9	30.5	30.1	29.7			
		実績値	33.4	33.2	33.4											
		基本計画における指標の説明又は出典元		75歳以上の要支援・要介護認定者数 / 75歳以上高齢者数												
	イ	箇所	成り行き値			75	76	77	78	79	80	81		達成	向上	
			目標値	50	55	77	80	83	86	89	92	95				
		実績値	53	74	108											
	基本計画における指標の説明又は出典元		市が把握する高齢者の自主活動グループ数													
	展開方向2	ア	%	成り行き値											達成	向上
				目標値	26.0	-	-	26.0	-	-	26.0	26.0				
		実績値	25.8(H26)	21.3	-	-	-	-	-	-	-					
		基本計画における指標の説明又は出典元		日常生活圏域ニーズ調査の抽出数(収入のある就労者 / 調査回答者数)												
	イ	%	成り行き値											達成	向上	
			目標値	-	-	-	12.6	-	-	17.6	17.6					
		実績値	7.6(H26)	-	-	-	-	-	-	-	-					
	基本計画における指標の説明又は出典元		日常生活圏域ニーズ調査の抽出数(見守り支援活動参加者数 / 調査回答者数)													
展開方向3	ウ	%	成り行き値										達成	向上		
			目標値	6.3	-	-	6.0	-	-	5.5	5.5					
	実績値	6.5(H26)	15.9	-	-	-	-	-	-	-						
	基本計画における指標の説明又は出典元		日常生活圏域ニーズ調査の抽出数(閉じこもりリスクのある高齢者数 / 調査回答者数) 3年に1度													
ア	件	成り行き値			3,435	3,435	3,435	3,435	3,435	3,435	3,435		達成	向上		
		目標値	3,445	3,455	3,465	3,475	3,485	3,490	3,495	3,500						
	実績値	3,435	3,699	3,963												
基本計画における指標の説明又は出典元		高齢者からの新規相談対応件数														
イ	%	成り行き値			25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3	25.3		未達成	低下		
		目標値	-	30.8	36.4	42.0	47.5	53.1	58.7	64.3						
	実績値	25.3	23.1													
基本計画における指標の説明又は出典元		国立市市民意識調査														
展開方向4	ア	%	成り行き値			80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	80.0	達成	向上		
			目標値	80.9	81.3	81.7	82.0	82.2	82.4	82.6	82.7					
	実績値	80.5	79.5	86.1												
	基本計画における指標の説明又は出典元		施設未利用の要介護認定被保険者数 / 要介護認定被保険者数													
イ		成り行き値										達成	向上			
		目標値														
	実績値															
基本計画における指標の説明又は出典元																
事務事業数		本数		44	43											
施策コスト	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円		1,059,087	1,056,810									
			都道府県支出金	千円		759,202	783,184									
		地方債	千円													
		その他	千円		2,447,616	2,437,516										
	一般財源	千円		777,489	715,675											
	事業費計(A)	千円	0	5,043,394	4,993,185	0	0	0	0	0	0					
	人件費	延べ業務時間	時間		72,621	71,913										
人件費計(B)		千円		259,102	251,397											
トータルコスト(A)+(B)		千円	0	5,302,496	5,244,582	0	0	0	0	0	0					

4 施策の成果実績値に対する評価

(1) 時系列比較(過去3ヶ年の比較) A(かなり向上)~E(かなり低下)

B:成果がどちらかと言えば向上した

(2) 他自治体との成果実績値の比較 A(かなり高い)~E(かなり低い)

B:他自治体と比べてどちらかと言えば高い成果水準

背景として考えられること

・市の在宅療養支援、認知症ケア施策のこれまでの取組みに加えて、生活支援体制整備においても、市民の理解・参加・協力を得て事業を実施する方向が明確となったことにより、地域包括ケアを推し進める原動力となっている。

・介護保険制度改正に伴い、少子超高齢社会における、地域の支え合い体制と多職種連携の整備が位置付けられた。

**5 施策の現状 必要に応じて展開方向ごとに記載**

(1) 施策を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか？

・2025年には団塊の世代が75才以上となり、3人に1人が65歳以上、5人に1人が75歳以上となる(国)。今後、高齢化が進むと医療と介護を必要とする方がますます増加していくが、現在の医療・介護サービスの提供体制のままでは十分対応できないと見込まれている。

・2025年を目途に、病気になっても要介護状態になっても住み慣れた地域で生活が送れるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現していく必要がある。

・地域包括ケアシステムを具体化していくための3年に一度の介護保険法改正が平成30年度に予定されている。

・3年に一度の介護保険法改正に関連し、第7期介護保険事業計画を平成30年度からの3カ年計画として策定する。

・「認知症になってもできる限り住み慣れた地域で暮らし続けることができる社会」の実現を目指していく。

・地域包括ケアシステムの構築をさらに推し進めるため、社会情勢の変化に対応した高齢者支援施策の模索が必要とされている。

・指定居宅介護支援事業所の指定権限の委譲された。

(2) この施策に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？

・住民からは「今後自分たちに介護が必要となってきたときに、安心して生活できるのか」「認知症になったらどうすればいいのか」という不安の声が寄せられている。

・介護施設と地域の拠点が一本化された運営をしてほしい。

**6 29年度の評価結果 必要に応じて展開方向ごとに記載**

(1) 施策の取組状況

29年度の取組状況	30年度の取組予定
<ul style="list-style-type: none"> <li>・第7期介護保険事業計画を策定した。(第5次高齢者保健福祉計画と一体の計画として策定した)</li> <li>これに伴い介護保険料を改定した。</li> <li>・現在の情勢に対応した高齢者支援施策の模索</li> <li>・地域医療計画の調査の実施</li> <li>・富士見台2丁目の遺贈土地建物における「居場所づくり」事業を実施した。</li> <li>・認知症コーディネーター(都)を配置した。</li> <li>・地域生活支援コーディネーターを3地区に3名配置</li> <li>・フレイルサポーターを養成</li> <li>・老人クラブへの支援を強化した</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・東2丁目の寄贈地に設置する小規模多機能型居宅介護事業所の公募条件を検討する</li> <li>・認知症コーディネーターのほかに認知症地域支援推進員を配置し、認知症ケアパスを改定</li> <li>・地域医療計画の策定</li> <li>・地域包括ケア計画に位置付けられた課題の検討及び解決へ向けての取り組みを始める</li> <li>・地域生活支援コーディネーターをさらに広げ、小地域ケア会議を実施する</li> <li>・フレイルサポーターを養成を引き続き行い、フレイル測定会を各地域で展開していく</li> <li>・介護職員初任者養成</li> <li>・一般会計の高齢者福祉事業の見直し</li> <li>・意思決定支援</li> </ul>

(2) 施策の全体総括(成果実績やコスト、見直しを要する事務事業等) 必要に応じて展開方向ごとに記載

総合基本計画及び28年度行政経営方針に照らして評価する

・市が把握する高齢者の自主活動グループ数が大きく伸びている。

・新総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)の更なる展開に資する取り組みを実施できた。(シニアカレッジ、介護予防事業、地域生活支援コーディネーターの配置など)

・地域包括ケアシステムの概念について市民周知を着実に行った。

・認知症コーディネーターを配置したことにより、認知症を地域で支える体制づくりが強化された。

・ひらや照らすの活動は、週3日間であるが順調に行われており、関わる地域住民も増えている。

**7 施策の課題・今後の方向性 必要に応じて展開方向ごとに記載**

(1) 31年度の取組方針

地域包括ケア計画(第7期介護保険事業計画、第5次高齢者保健福祉計画)に沿って各事業に取り組む。

地域医療計画に基づく施策の展開。

新総合事業の更なる充実。

30年度の取組を継続する。

(2) 中期的な取組方針

地域包括ケアシステム構築への取組を軸に高齢者の安心安全を24時間365日を実現するために各施策に取り組む。